

万博遠足不参加を願う情報提供

※ 開封された方はぜひ皆さんに紹介していただきますようお願いいたします

新年度の教育活動にご多忙のことと存じます。私たちは、万博開催地夢洲の環境そのものの危険性から、集客施設を作ることに反対しています。中でも、子どもたちの無料招待事業については、計画の無謀さ杜撰さに不安と憤りを禁じ得ず、昨年来3回にわたって、大阪府下の学校や招待を受けた教育機関に、情報提供をしてきました。今回は、さらに深刻な問題が明らかになりましたので、ぜひとも、万博遠足参加を取りやめていただきたく、再度情報提供させていただきます。

- ① **メタンガス排出量が毎日3 tに増加**（11月までは1.5~2 t）。**爆発限界値を超える濃度も何回も検知され、致死量の一酸化炭素、硫化水素なども出続けている**。特に、団体バス駐車場、西ゲート付近が深刻な数値。そのため、喫煙場所も撤去された。
- ② 今までの方針を転換し、昨年3/28にメタンガス爆発火災事故があったGW（グリーンランドIA）で**飲食店のプロパンガスを使っていることになるなど、安全対策が後退している**。
- ③ **有毒ガス情報を毎日発表**としているが、4/1時点で**具体的な方法が示されていない**。
- ④ 南海トラフ地震発生率が**80%に増え**、3/31に新たに出示された被害想定では、万博会場の**最大震度は6強に引き上げられた**。災害が激烈化し頻発する中、パピリオンや、夢咲トンネル、夢舞大橋などの耐震性を疑問視する声もあり、**陸路途絶による避難課題がより深刻**に。万が一橋を渡れたとしても、その先の此花区は、区役所・消防署も海拔マイナス2mであり、大阪は焼失被害が全国最大になるとされており、避難先も危ぶまれる。
- ⑤ 万博協会は**防災計画**で、災害時15万人が3日間夢洲に留まる恐れがあるとしながら、非常食は60万食（必要量は135万食）しか用意していない。**今後増量することだったが追加の発表はない**。
- ⑥ **海外パピリオンの多くは連休以降にならないと完成しない見込み**で、工事遅れの原因は**夢洲の地盤の問題が大きい**と報道。万博協会は「液状化はしない」と言っていたが、隣接のIRカジノ用地では、**土壌改良・液状化対策工事が行われている**。下水道設置ができないので溜めたものを此花区の処理場にパイプで送るため、**感染症の心配も増大**。
- ⑦ テストランで下見する学校に、万博協会が、見学できるパピリオンと使用できる団体休憩所の情報を提供したのは、4月実施予定の学校のみで、5月実施予定の学校には提供できないなど、**対応の遅れが顕著で、有効な下見ができない状況**。

大阪府教育委員会に、万博遠足で子供たちに何かあったら、誰が責任を取るのかと聞いたところ、「責任は、参加を決定した**学校長と引率した教員にある**」と答えました。過去には、**校外学習等で事故に遭い教員が有罪判決を受けた例もあります**。

府教委の担当課によると「無料招待事業に参加するかどうか、万博校外学習を実施するかどうかの判断は、各学校の権限であって、各学校に任されている。実施しない場合は、大阪府教委の招待事務局に申し出るだけでよい。」ということです。

この間、吹田市教育委員会では「大阪府教育委員会に、**40項目の質問を行いました**が、**回答は半数ほどしか返らず、納得のいくものは2つしかなかった**」とのことで、各学校長との連名で、「万博遠足については、学校行事として訪れることを見合わせる」と保護者宛に通知するなど、不参加を決める自治体や学校が増えてきています。「参加するかしないかで子どもたちや保護者が分断されるのではないかと心配していたが、教育委員会や学校で取りやめてくれたので、ほっとした」「孫が危険な目に遭うのではと心配していたが取りやめになってよかった」との声が上がっています。

子どもたちの健康といのちを守るため、『万博校外学習』は実施しない』との決断を、ぜひともお願いいたします。

また、学校単位での参加をしない場合は個人クーポンでの申し込みに移行するとしていますが、行政や学校から配られるものだからと信頼して、危険性について知らないまま夢洲に行き被害にあう場合もあるのではないかと懸念しています。併せて、子どもたちと保護者の方にも、危険を回避するために情報を提供していただきますようお願い申し上げます。PTA会長様・保護者の皆様宛の文書も同封いたしました。お手数をお掛けしますが、お渡し、伝達いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

同封の資料、当会のチラシ及び当会のHP（下記QRコードからご覧いただけます）も併せてご参照ください。

